
精霊の主

氷雨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

精霊の主

【コード】

N9846K

【作者名】

氷雨

【あらすじ】

ある出来事に特定の人物以外信頼できなくなった少年と精霊達の物語

第0話（前書き）

設定からして厨二病ですがよろしくお願ひします

第0話

むかーし昔あるところに独りの少年がいた

彼は誰が見てもごくごく普通の少年だった

しかし彼には誰にも言えない秘密があったのです

それはなんと契約もしていない精霊と友達であることだった

普通なら契約をしていない精霊を話すことはおろか姿を見ることができないのです

ある日精霊と話しているところを村人に見られてしまったのです

その時は村人もあまり気にしませんでしたがしかし少年が話してい

る姿を見る回数が増える毎に村人達は気味悪がりはじめました

気味悪がるのも当たり前です村人達には精霊は見えないのですから

そして少年は村人達から無視されるようになりました

しかし少年の両親は少年を気味悪がりませんでした

両親は少年の言うことを一つ一つちゃんと聞いてくれたのです

少年は両親が自分を理解してくれるそれだけで幸せだったので

しかしその幸せも長くは続きませんでした

村人達が少年を殺そうと少年の家へ乗り込んできました

両親は戦いましたしかし村人達の多さからの実力差に苦戦しようとう追い詰められてしまったのです

両親は命からがら転移魔法を発動させもう一人の少年の理解者であるとあるギルドマスターの所へ転移させました

少年は3日間眠り続けました目の前で両親が殺される場面を見てしまい精神的ダメージが大きかったのでしよう

少年が目を覚ますとギルドマスターから両親の死の報告を受け静かにある決意をしました

両親を殺した村人達への復讐を

これは復讐を心に決めた少年の成長と友情の物語

第0話（後書き）

亀並のスローペースですが

どうかよろしく願いします!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9846k/>

精霊の主

2010年10月28日04時51分発行